

// PICKUP //
日々の活動報告



①



②



③



④



⑤



⑥

①発掘調査をしていた市議会棟の建設予定地 江戸時代中期のものと思われる前橋城の堀跡二本の一部が出土した。昔から様々な人間の営みがあることを感じる。

②回生電動アシスト自転車を活用した市民モニタリング事業 自家用車に依存しない交通環境の整備に取り組むため、令和2年4月から実施される。GPS機能付きIoT自転車100台を貸出し、そのデータを活用する。

③青少年と未来をつなぐ教室 母校、前橋第三中学校で開催。政治家＝総理大臣、政治家＝選挙のイメージ

しかない生徒に、政治家の仕事は問題解決であり、それは皆の周りにもあることを伝えた。

④敷島地区のどんど焼き 燃やした後はお楽しみの焼き焼きタイム。各自で持ち寄ったものを工夫して温めたり炙ったりする。

⑤前橋市長選挙公開討論会 前橋青年会議所主催。群馬テレビ生中継・YouTube生配信を担当委員長としてやり遂げた。

⑥前橋の美術2020-トナリのビジュツ-準備風景 前橋ゆかりの47名のアーティストがアーツ前橋を核にアートシーンを創出した。

AKATONE NEWS

● 令和2年 第2回定例会開催予定

どなたでも傍聴できますので、市議会の様子をぜひご覧ください。

- 6月11日(木) 本会議(初日:提案理由の説明)
- 6月18日(木)・19日(金)・22日(月) 本会議(総括質問) ※赤利根 質問予定は22日
- 6月30日(火) 追加議案の上程、表決(閉会)

※本会議の傍聴は議会庁舎5階の議場入口で受け付けます。
※手話通訳を希望される場合は、傍聴希望日の7日前までに下記へご連絡ください。

前橋市議会 赤利根 〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1 ☎ 090-3510-6113

● 赤利根ブログ毎日更新中! 「赤利根」で検索!



【前橋市朝日町の日赤病院跡地】基本計画の対象となるのは日赤跡地の約3ヘクタールと市有地の約0.8ヘクタール。生涯活躍というキーワードで様々な可能性が模索されてきたこの場所は、大和ハウス工業群馬支社が日赤から取得した。21年度着工予定。移住者や市民が住む多世代型賃貸住宅や分譲住宅計48戸に、スーパーマーケット、薬局、フィットネス施設、エネルギーを自給できる蓄電設備も作る予定だ。市有地には、近隣にあり老朽化が進んでいた夜間急病診療所、福祉作業所を移転。公園や地域コミュニティスペース、民間による介護付き有料老人ホーム、認定こども園の開設も計画されており22年度併用開始予定となっている。

前橋市議会「赤利根」とは?

赤城山の赤に利根川の利根であかとねと読みます。はるか昔からこの地を形成してきたその2大要素を中心に、前橋のさまざまな魅力を市民の皆様とともに考えて、市外、県外、海外に誇れるまちにしていきたい。この思いを実現していくために活動する会派です。



所属議員

岡 正己 (おか・まさみ)

1980年12月29日生まれ。前橋市出身、住吉町在住、まちなかが活動拠点のため事務所は千代田町。父は大利根町、母は富士見町のmade in 前橋の39歳。二児の父。

第4回定例会の報告

令和元年 11月28日～12月17日

令和元年 12月9日 総括質問二日目 (20分間)
岡正己 (赤利根)
※議員の発言内容は「読みやすさ」を意識し、割愛・編集している箇所がございます。
議事録は「前橋市議会議事録」としてウェブ上で公開されておりますのでそちらをご覧ください。
URL : <http://www.city.maebashi.gunma.dbsr.jp/index.php/>

1. 中心市街地について

(1) 中心市街地活性化基本計画



再開発などでなにかと話題の中心市街地、通称「まちなか」。新規出店も通行量も増えているというが、実感しているという市民はまだまだそんなに多くはありません。名実ともに前橋の顔と呼べる日は来るのでしょうか。

シャッター街と呼ばれていた中心市街地も最近、活性化を実感する機会が増えています。中心市街地は、前橋の顔であり前橋市民のプライドです。市民の中には「魅力がない」と感じている方もいるのですが、それは市外の人からすれば関係ありません。そこが前橋の中心として見られてしまう場所なのです。

岡議員 平成29年3月に策定した中心市街地活性化基本計画を改めて確認してみると、重点事業として位置付けたまちなか就

労の成果は見えづらいものの、計画に位置付けた施策が順調に進捗しているように感じます。

そこで、中心市街地活性化基本計画の進捗状況と進んでいない施策について伺います。

産業経済部長 5カ年で位置付けた110事業のうち、現在では9割近く着手している状況です。進んでいないとする施策については、道路や街路灯の改良などのハード整備とともに、まちなか居住及びまちなか就労のソフト面についてはまだその成果が見えていないと捉えています。

(2) 千代田町三丁目土地区画整理事業



平成23年に事業が開始されており、現地では事業がかなり進んでいる様子を確認できます。

広瀬川や弁天通り商店街に隣接した立地的に恵まれている場所での事業です。また地区計画を制定するなど、住民と協力し景観に配慮したまちづくりを進めていると認識しています。

岡議員 進行中の電線共同溝工事等は景観配慮のみならず、近年の自然災害に備え防災上でも重要なことでしょう。事業の進捗に伴い、現地では従前家屋が解体され空地が目立つようになり、将来どんな土地利用になる

のか住民も興味を持っています。

都市計画部長 ご指摘のとおり、移転された地権者には地区外に転出された方や店舗等を閉められた方もおり、事業以前と比較し、空地が増えている状況です。

本市としても、中心市街地での低未利用地の増加は、まちの活性化につながらないと考えており、地権者の方々のご意向を確認しながら、土地の活用等について積極的に情報提供を図り、官民協働のまちづくりを進めていきたいと考えております。

(3) 屋外広告物に関する規制



看板類すべてが悪いわけではないが、景観は、まちのイメージを決めています。

元気21からアーツ前橋、広瀬川河畔へとつながる千代田通りは、中心市街地のメインストリートであり、本市の都市イメージに見合った景観が望ましい。

岡議員 千代田通り周辺の屋外広告物規制について伺います。
都市計画部長 本市の条例では種

類や大きさの基準はありますが、板面のデザインや色彩に関する規定はなく、比較的自由に広告を掲出できる状態です。

岡議員 通りに面した部分に限定して特別規制を適用、望ましいデザインや大きさを示すガイドライン策定といった方法も今後は考えるべきでしょう。

特集2

赤利根的 令和元年度 前橋10大ニュース!

令和元年度も残りわずか…。そこで! 気になった前橋のあれこれを、赤利根独自の視点で「10大ニュース」としてまとめてみました。

PICKUP!



10月

台風第19号の影響で、三大祭りの前橋まつりが中止に

全国的に甚大な被害のあった台風第19号。前橋では直接的な被害は被災地域に比べれば少なかったものの、前橋の三大祭りである「前橋まつり」は中止に。お囃子の練習を重ねてきた小学生のために独自に発表会を行う町内会もありました。

オリンピックを目指す南スーダン選手の長期合宿先が前橋に

南スーダンは2011年にスーダンから独立してできた世界一若い国。紛争の影響で厳しい練習環境にあるため、大会直前まで安全な練習場所として前橋が受け入れることに。私たちのまちが、日本と南スーダンの架け橋になれたといういいニュースです。



11月

ザスパクサツ群馬 悲願のJ2昇格!



12月

サッカー J3のザスパクサツ群馬が3季ぶりのJ2復帰を決めました。19年シーズンはホーム平均入場者が3594人で18年よりおよそ250人増え、上位争いの中で人気も高まっていたようです。前橋まちなかへの事務所移転や社名変更などの動きにも注目です。

スクールホーム実施 - 前橋独自の一斉休校に際した取り組み -

世界的に影響の広がる新型コロナウイルスの感染拡大抑止のために始まった日本国内の小中高などの一斉休校。そんななか前橋では、共働き家庭等で、日中の子どもの対応が不可能な児童生徒を対象にした「スクールホーム」が3月4日から始まりました。



3月

さらにこんなニュースも!

4月～ 前橋市アーバンデザイン策定・広瀬川の再開発などが進む

馬場川通りを中心にまちなかで新規出店ラッシュ! 新たなイベントも話題に

4月～ 自動運転バスの実証実験や MaaS への取り組みが国内の先行事例に

「まちのほけんしつ」「IRORI場」など若者による拠点が市内各所にオープン

12月 市立前橋高校 文科省・経産省「キャリア教育推進連携表彰」で優秀賞受賞

前橋市長選 史上最多6人の候補者が乱立 山本龍氏が3期目に

第4回定例会の報告

令和元年 11月28日～12月17日

令和元年 12月9日 総括質問二日目 (20分間)
岡正己 (赤利根)
※議員の発言内容は「読みやすさ」を意識し、割愛・編集している箇所がございます。
議事録は「前橋市議会議事録」としてウェブ上で公開されておりますのでそちらをご覧ください。
URL : <http://www.city.maebashi.gunma.dbsr.jp/index.php/>

1. 中心市街地について

(1) 中心市街地活性化基本計画



再開発などでなにかと話題の中心市街地、通称「まちなか」。新規出店も通行量も増えているというが、実感しているという市民はまだまだそんなに多くはありません。名実ともに前橋の顔と呼べる日は来るのでしょうか。

シャッター街と呼ばれていた中心市街地も最近、活性化を実感する機会が増えています。中心市街地は、前橋の顔であり前橋市民のプライドです。市民の中には「魅力がない」と感じている方もいるのですが、それは市外の人からすれば関係ありません。そこが前橋の中心として見られてしまう場所なのです。

岡議員 平成29年3月に策定した中心市街地活性化基本計画を改めて確認してみると、重点事業として位置付けたまちなか就

労の成果は見えづらいものの、計画に位置付けた施策が順調に進捗しているように感じます。

そこで、中心市街地活性化基本計画の進捗状況と進んでいない施策について伺います。

産業経済部長 5カ年で位置付けた110事業のうち、現在では9割近く着手している状況です。進んでいないとする施策については、道路や街路灯の改良などのハード整備とともに、まちなか居住及びまちなか就労のソフト面についてはまだその成果が見えていないと捉えています。

(2) 千代田町三丁目土地区画整理事業



平成23年に事業が開始されており、現地では事業がかなり進んでいる様子を確認できます。

広瀬川や弁天通り商店街に隣接した立地的に恵まれている場所での事業です。また地区計画を制定するなど、住民と協力し景観に配慮したまちづくりを進めていると認識しています。

岡議員 進行中の電線共同溝工事等は景観配慮のみならず、近年の自然災害に備え防災上でも重要なことでしょう。事業の進捗に伴い、現地では従前家屋が解体され空地が目立つようになり、将来どんな土地利用になる

のか住民も興味を持っています。

都市計画部長 ご指摘のとおり、移転された地権者には地区外に転出された方や店舗等を閉められた方もおり、事業以前と比較し、空地が増えている状況です。

本市としても、中心市街地での低未利用地の増加は、まちの活性化につながらないと考えており、地権者の方々のご意向を確認しながら、土地の活用等について積極的に情報提供を図り、官民協働のまちづくりを進めていきたいと考えております。

(3) 屋外広告物に関する規制



看板類すべてが悪いわけではないが、景観は、まちのイメージを決めています。

元気21からアーツ前橋、広瀬川河畔へとつながる千代田通りは、中心市街地のメインストリートであり、本市の都市イメージに見合った景観が望ましい。

岡議員 千代田通り周辺の屋外広告物規制について伺います。

都市計画部長 本市の条例では種

類や大きさの基準はありますが、板面のデザインや色彩に関する規定はなく、比較的自由に広告を掲出できる状態です。

岡議員 通りに面した部分に限定して特別規制を適用、望ましいデザインや大きさを示すガイドライン策定といった方法も今後は考えるべきでしょう。

特集2

赤利根的 令和元年度 前橋10大ニュース!

令和元年度も残りわずか…。そこで! 気になった前橋のあれこれを、赤利根独自の視点で「10大ニュース」としてまとめてみました。

PICKUP!



10月

台風第19号の影響で、三大祭りの前橋まつりが中止に

全国的に甚大な被害のあった台風第19号。前橋では直接的な被害は被災地域に比べれば少なかったものの、前橋の三大祭りである「前橋まつり」は中止に。お囃子の練習を重ねてきた小学生のために独自に発表会を行う町内会もありました。

オリンピックを目指す南スーダン選手の長期合宿先が前橋に

南スーダンは2011年にスーダンから独立してできた世界一若い国。紛争の影響で厳しい練習環境にあるため、大会直前まで安全な練習場所として前橋が受け入れることに。私たちのまちが、日本と南スーダンの架け橋になれたといういいニュースです。



11月

ザスパクサツ群馬 悲願のJ2昇格!

サッカー J3のザスパクサツ群馬が3季ぶりのJ2復帰を決めました。19年シーズンはホーム平均入場者が3594人で18年よりおよそ250人増え、上位争いの中で人気も高まっていたようです。前橋まちなかへの事務所移転や社名変更などの動きにも注目です。



12月

スクールホーム実施 - 前橋独自の一斉休校に際した取り組み -

世界的に影響の広がる新型コロナウイルスの感染拡大抑止のために始まった日本国内の小中高などの一斉休校。そんななか前橋では、共働き家庭等で、日中の子どもの対応が不可能な児童生徒を対象にした「スクールホーム」が3月4日から始まりました。



3月

さらにこんなニュースも!

4月～

前橋市アーバンデザイン策定・広瀬川の再開発などが進む

馬場川通りを中心にまちなかで新規出店ラッシュ! 新たなイベントも話題に

4月～

4月～

自動運転バスの実証実験や MaaS への取り組みが国内の先行事例に

「まちのほけんしつ」「IRORI場」など若者による拠点が市内各所にオープン

10月

12月

市立前橋高校 文科省・経産省「キャリア教育推進連携表彰」で優秀賞受賞

前橋市長選 史上最多6人の候補者が乱立 山本龍氏が3期目に

2月